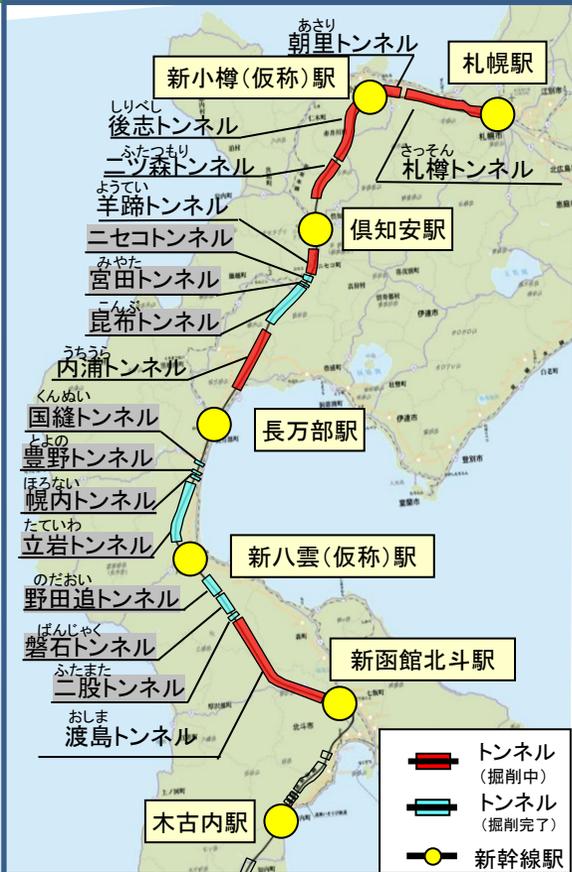


北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)工事月報①

2026(令和8)年1月1日現在

○トンネル工事の過去1か月間の進捗状況



トンネル工区	延長 (m)	覆工延長 (m)	掘削延長 (m)	掘削の進捗率	過去1か月の掘削延長 (m)	過去1か月の工事状況			
						前々回	前回	今回	
札幌	桑園	346	0	195	56%	1	●	●	● (*1)
	札幌	8,446	0	2,983	35%	0	●	●	● ビットの摩耗に伴い、11月下旬から掘進停止。12月からビット引抜き点検実施中。
	富丘	4,500	1,902	4,055	90%	91	●	●	● 2切羽で掘削中。小樽方は概ね想定通りの進捗、札幌方は現地の状況により進捗が低下。
	星置	3,300	1,143	2,431	74%	96	●	●	●
	銭函	5,100	972	3,000	59%	72	●	●	● 2切羽で掘削中。
	石倉	4,556	696	3,132	69%	34	●	●	● 湧水により進捗が低下。
朝里	4,328	3,101	4,246	98%	0	●	●	● トンネル本坑の大断面インパート部を掘削中。	
後志	天神	4,460	3,446	4,183	94%	50	●	●	●
	塩谷	4,050	1,488	4,050	100%	-	●	-	-
	北上沢	4,600	4,543	4,600	100%	-	-	-	-
二ツ森	落合	4,865	4,826	4,865	100%	-	-	-	-
	明治	3,255	2,040	3,141	97%	75	●	●	●
尾根内	尾根内	4,615	3,380	4,615	100%	-	-	-	-
	鹿子	4,780	4,748	4,780	100%	-	-	-	-
羊蹄	比羅夫	5,569	3,787	4,559	82%	104	●	●	●
	有島	4,166	1,599	2,867	69%	0	●	●	● 中間立坑にてビットを交換中。区間A②の岩塊を撤去中。
ニセコ	2,250	2,250	2,250	100%	-	-	-	-	
昆布	宮田	5,710	5,742	5,710	100%	-	-	-	※宮田トンネルを含む。
	桂台	4,800	4,769	4,800	100%	-	-	-	-
内浦	幌内	5,000	4,960	5,000	100%	-	-	-	-
	東川	5,000	2,076	4,097	82%	59	●	●	●
	静狩	5,570	4,274	5,570	100%	-	-	-	-
国縫	1,340	1,340	1,340	100%	-	-	-	-	
豊野	2,165	2,120	2,165	100%	-	-	-	※幌内トンネルを含む。	
立岩	豊津	2,065	1,950	2,065	100%	-	-	-	-
	ルゴツ	5,000	5,000	5,000	100%	-	-	-	-
	山崎	4,960	4,786	4,960	100%	-	-	-	-
	立岩	5,015	4,977	5,015	100%	-	-	-	-
野田追	北	4,450	3,497	4,450	100%	-	-	-	-
	南	3,775	3,661	3,775	100%	-	-	-	-
磐石	祭礼	1,975	1,950	1,975	100%	-	-	-	-
	北	3,150	3,157	3,150	100%	-	-	-	-
二股	3,100	3,085	3,100	100%	-	-	-	※磐石トンネル(南)を含む。	
渡島	上ノ湯	5,300	4,631	5,300	100%	-	●	●	-
	上二股	4,540	2,749	4,540	100%	-	-	-	-
	北鶉	5,510	4,012	5,510	100%	-	-	-	-
	南鶉	3,900	867	2,271	58%	48	●	●	● 地質不良が継続中。2切羽で掘削中。
	天狗	4,600	2,877	4,443	97%	32	●	●	● 台場山工区側への長尺ボーリング完了。
台場山	3,500	668	1,965	56%	49	●	●	● 地質不良区間が局所的に出現。3交代(24時間)体制で掘削中。	
村山	5,365	5,365	5,365	100%	-	-	-	-	
合計	168,976	118,430	151,517	90%					

進ちよく率

	延長	契約率	掘削率
土木工事	211.9km	99%	90%

土木工事(トンネル、橋りょう・高架橋等)の状況

本坑掘削完了	25工区
本坑掘削中	15工区
橋りょう・高架橋等工事施工中	20工区
計	60工区

発生土受入地確保状況

	対策土	無対策土	合計
確保率	90%	99%	96%

※現時点で想定している発生量に対する確保割合。発生量は地質や工事の状況により変更となる可能性があります。

※当月におけるトンネルの掘削が、●概ね想定通り、●想定を下回り難航、●停止中(計画に則る停止を除く)であることを示します。

※●は、2024(令和6)年5月時点において3~4年程度の遅れが生じており、工程を重点的に管理している工区を示します。

※■のバーは掘削が完了している工区です。

※札幌トンネル札幌工区の覆工延長は二次インパート延長を示します。

*1 過去1か月の掘削延長は、トンネル区間の進捗率から換算しています。